

途 上

信州大学教育学部附属長野小学校学校だより

文責：教頭



青葉映える五月となりました。今回は五月の校長講話の様子をご紹介します。

変わるモノ、変わらないモノ、変えたくないモノ

みなさん、おはようございます。今年度1回目の校長講話になります。どうぞよろしくお願いします。

まず、ここから話のスタートです。私たちの学校目標、「共に在る」です。低学年のみなさんにとっては言葉が難しいと思いますが、高学年のみなさんにとっては、どういう意味なのか分かりますか。私たちの毎日の学校生活はすべて、この「共に在る」に向かっています。具体的にどうしていけばよいのか、毎日の学校生活の中で常に考えて行きましょう。

先生は、この「共に在る」の目標が少しでも達成できるために、すでに何度も言っていますが、3つの願いをみなさんにお話しています。一つ目は、失敗を恐れずにチャレンジすること。二つ目は、友達を大切にすること。三つ目は事故やケガに気をつけること、ですね。

「失敗を」できている人はどのくらいいますか？「友達を」できている人は？「事故や」は？たくさんの人が手を挙げてくれてとてもうれしいです。それでは、今日の話をしますね。

突然ですが、この人は誰だか知っていますか？シン・仮面ライダーです。仮面ライダーはヒーローですね。皆さんの中にも大好きな人がいるかもしれません。で、この仮面ライダーなのですが、二年前に映画が公開されました。

実は先生、この映画を映画館で見てはいないのですが、外に貼ってあったポスターを見てふと立ち止まったのです。何が気になったのかというと、ポスターに書いてある言葉に深く考えさせられたからです。

その言葉は 「変わるモノ」「変わらないモノ」 そして「変えたくないモノ」です。実は今日みなさんと考えたかった、または心の中の自分と話をしてもらいたかったことはこのことです。みなさん、それぞれ進級しましたね。○年生になって

「変わるモノ」って何ですか？

「変わらないモノ」って何ですか？

「変えたくないモノ」って何ですか？

少し時間をあげますので、一人ひとり心の中で考えてみてください。それでは、これからこの1か月で先生たちから見た、みなさんのよい姿を紹介しますね。

1年生は、友達とかかわることが増えてきたとのことですよ。この写真は、ファイルがバラバラになってしまったところを協力して整理している姿です。また、掃除では上手に雑巾で床を磨くことができるようになりました。そしてすごいなと思ったのが、給食の時間では最初準備に45分かかっていたのが、今では15分でできるようになったようです。1年生がんばっていますね！



次は2年生です。2年生では、先生や友達のお手伝いを自分からしてくれる人がたくさんいるですよ。そこから1組では、いろいろな係をつくって活動をしているようです。この写真は、レク係のみなさんが、ポスターとポストをつくり、みんなのやりたい遊びを募集している場面です。その後、やりたい遊びで1番多かった「だるまさんがころんだ」をやったようです。あと、2組さんでは1年生を気にかけて助けている姿や、トイレ掃除を自分からやってくれる姿があることを聞きましたよ。素晴らしいですね。

3年生は、まずは算数の授業で、キャップカーリングに熱中している1組のみなさんの姿です。友達とかかわりながら授業に熱中している姿いいですね。そしてもなちゃんがいる2組さんは、今まで以上に人や動物の思いを大事にする姿が見られるようです。もなちゃんの友達を迎えるための柵作りでは、今までお世話になった方々に感謝の気持ちをもちながら一生懸命、自分たちで柵作りをしましたね。



4年生は特に元気いっぱいです。遊ぶ時は遊び、集中しなくてはいけないときは集中することができているようです。1組、2組ともクラス替えをして、新しい担任の先生になった中、大変立派です。これからどんなすてきな高学年になっていくかとても楽しみです。



5年生では、学年やクラスの友達とのかかわりはもちろんのこと、一人になって学習や掃除ができる場面があるようです。トイレ掃除を一生懸命にやってくれる姿、雑巾が真っ黒になるまで床を磨いてくれる姿は、全校のみなさんのお手本です。このようなみなさんの姿から、ときには「自分はこうしたい」と友達の考えに左右されずに自分で考えて、決めて動くことの大切さを教えてもらっている気がします。

最後は6年生です。1年生と一緒に帰ったり、児童会や方面別子ども会をリードしたり、全校の前で6年生としての姿をしっかりと見せてくれています。全校のリーダーとして自覚と責任をもって張り切ってやっている姿が素晴らしいですね。黙々と掃除をする6年生の姿も見られます。見られていなくとも、6年生として懸命に掃除に取り組む姿から、担任の先生方はみなさんの大きな成長を感じているようですよ。



今まで各学年の良い姿を紹介してきましたが、中でも、先生方がみなさんの良い姿で出てきたもので共通して挙げてくれた姿があります。それはどんな姿だと思いますか？ヒントはこの写真です。それは「聴く」です。みなさん、一人ひとりにとって、聴くことは、今までと変わらないモノの人もいれば変わる人、変えたくないモノとしている人もいます。でも、一つ言えることは、校長先生が願っている「友達を大切にすること」には間違いなくつながっていると思います。そして、きっとその先に「共に在る」があるのだらうなと思います。みなさんはどう考えますか？



さあ、今日から緑薫る5月となりました。さわやかな風と共に、友達や先生、動物、植物、ものの声を聴きながら、かかわりながら大いに学び、大いに遊び、そしてワクワクする学校を創っていきましょう。みなさん、静かに聴いてくれてどうもありがとうございます。以上で、校長講話を終わりにします。

(5月1日 校長講話より)

子どもたちとの日々から

2時間目終了後の休み時間に通学委員のみなさんが、南門の外側の掃除をしてくれています。ここは、秋には落ち葉でいっぱいになります。南門から出て、夢の架け橋(跨線橋)を渡る道は、本校の多くの児童が登下校で通う道です。自分も休み時間は遊びたいだろうに、自分のことは後回しにして、全校のために働く子どもたちがいます。大きくなっていくにつれて、社会のために働くということの大切さを感じる児童会活動での学びです。通学委員会の方、ありがとうございます。

